

大田区職員9条の会ニュース

第122号 2017年6月29日 編集 大田区職員9条の会事務局
大田区職員労働組合気付

「一般人には適用されないから自分には関係ない」のだろうか？

「共謀罪」成立を考える

「考えること」「話し合うこと」「行動すること」を続けよう

- 憲くん 6月15日「組織的犯罪処罰法改正案」が成立したね。いろいろ問題があったみたいだけど。
- 法さん この法案は「テロ等準備罪」と政府は言っていたけど、多くのマスコミなどは「共謀罪」と言っていた。様々な人たちが反対の声を挙げていたし国際的な批判もあつた。
- 憲くん この法律ができれば、国際的なテロ犯罪が防げるというから「テロ等準備罪」だと言われているけど。
- 法さん 日本が批准しようとしているのは、国際的な麻薬犯罪組織や違法な銃の流通などを防止するために作られた「パレルモ条約」などで直接的にテロ対策のための条約ではないというのが世界的な認識になっているわ。
- 憲くん でも「テロ」は防いでほしいと思う。
- 法さん 法律だけでテロが防げるのであれば、「共謀罪」や「愛国者法」などがあるアメリカではテロが根絶されているはずだけど、なくなっていない。なぜ「テロ」や「憎しみの連鎖」が続いているのかは、法律を作って取り締まればよいという問題ではないと思う。
- 憲くん ふーん。ところでなぜ「共謀罪」って言われているの
- 法さん この法律の狙いの一つが「組織的犯罪集団」が行おうとしていることを未然に防ぐことだと言われている。でも誰が「組織的犯罪集団」に属しているか？ を事件が起こる前にわかるためには「組織的犯罪集団」だと目された人たちの構成員や周辺にいる人たちを絶えず監視しなければならない。しかも国会答弁では「普通の団体でも『組織的犯罪集団』に変化するときがある」とも言われていたから、すべての集団を疑り深く監視することになる。そして、何を事件の準備行為とするのかも曖昧だから、時の権力者の恣意的な判断でいつでも捕まえることができる。だから「話し合うことすら罪になる法律」として三度も廃案になった「共謀罪」と同じだと反対されていたのよ。
- 憲くん 確か国連の人権機関もこの法律をこのまま通してはいけなと言っていたね。でも、もう成立してしまったのだから・・・仕方ないじゃないの。
- 法さん そうね。参議院の委員会での採決を省略させるなどかなり強引なやり方で成立させた。でも、法律が通ってしまったら仕方がないというのではなくて、権力者の恣意的な判断で適用させないように、主権者である国民が監視していく必要がある。そして何よりも大切なことは、この法律ができたからと言って委縮したり、自己規制したりしないで、堂々と今まで通り発言したり、話し合ったり、行動することが大切だと思う。
- 憲くん そうか。いろいろ疑問に思ったことを調べたり、違う角度から考えたりすることも大切だね。自分の思っていることで罪になったり、メールやSNSの通信を監視されるような社会は絶対にいやだと思う。

共謀罪法廃止！安倍政権退陣！7.19 総がかり行動

日 時：7月19日（水）18時30分～ 場 所：衆議院第二議員会館前
主 催：戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会

2017年5月の沖縄平和行進に参加して

「沖縄平和行進」に参加させていただいたおかげで、沖縄を肌で感じる機会をいただきました。東京に戻って、現地で配られた『PEACE ACTION 2017 5・15平和行進ガイドブック』（沖縄平和運動センター）を読みました。

この冊子は、沖縄のことをよくわかっていない私にとって、とても良い入門書になりました。これを読んで、沖縄最北端の辺戸岬というところに、「祖国復帰闘争碑文」というのがあることを知りました。調べてみると復帰協議会三代目会長の桃原用行氏が起草されたものだそうで、格調高い碑文から沖縄返還から現在に至るまでの歴史と沖縄の悲しさ、やるせなさ、そして「希望」が伝わってきました。

冊子には、「歩くことで知る沖縄があります。自分の足で目で沖縄の今を確かめてください。」とも書いてあります。



糸数壕（アブチラガマ）の中で、語り部から聞く話は、想像するだけで息苦しさを覚えました。「持っている懐中電灯の明かりを消してください。」という語り部の呼びかけで、壕の中は、暗闇に。この暗闇の中でおびえる負傷者、一般住民。看護等に当たる姫ゆり学徒たち。

戦争とはなんとむごいものか。

平和祈念公園の中にある平和の礎（いしじ）は、平和を求める心がかたちとなっている素晴らしい施設でした。バスガイドさんがそのことを教えてくれました。

数年前一人で行った時は、タクシーで普天間飛行場とオスプレイを遠方から眺め、東洋一という嘉手納基地を見学しただけでした。今回の旅は、ガイドさんの説明もあり、バスで南に北にたくさん回れたので大満足でした。行く前は、辺野古での座り込みで機動隊にゴボウ抜きにされたらどうしよう？なんて不安もありました。

辺野古のテントの所で聞いた山本英夫さんという方の言葉が強く印象に残りました。“ビビるのではなく皆で頑張る。彼がいる。彼女もやっている。そのような信頼関係があるからやっていける。東京でパクられた時、友や息子が助けに来てくれた。”

おかしいことをおかしいと言える人間関係を作っていくことの大切さを思いました。

平和行進は、ジュゴンの大きな風船とともに、豊かな自然の中をわんさか大浦パークまで歩きました。カヌーで海上デモをしている人たちに手を振り、楽しい平和行進でした。

今回、島唄に出てくるデイゴの鮮やかな赤い花と月桃を見たのも初めてです。この催しに誘っていただき、自由行動日には、対馬丸記念館や県立博物館で「やんばるの森の美 写真展」にも同行して下さった大田区職労役員の方に感謝いたします。

また、今回のツアーの計画を立てていただいた方々、団長、事務局長はじめ、ご一緒させていただいた皆様には、いろいろなお話を聞かせていただきありがとうございました。

それぞれの持ち場での今後のご健闘とご多幸を祈ります。

私は、これからも沖縄や福島が置かれた現状から目を離さず、ともにあるためには？ を考えていきたいと思っています。

亡くなられた大田知事のご冥福をお祈りいたします。(K・S)

STOP安倍政治 緊急シンポジウム 改憲を許さない市民集会

日 時：7月12日(水) 18時30分～ 会 場：中野 ZERO ホール 参加費：500円
主 催：安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合